

【CIO育成テキスト「CIO実践力強化版」のご利用にあたって】

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
人材育成推進部 IT経営応援隊事務局

平成18年度のIT経営応援隊事業において、「CIO育成テキスト(CIO実践力強化版)」を開発しました。この教材を公開致しますので、ご活用ください。
開発された教材は下記の4点から構成されています。

- * CIO育成テキスト(CIO実践力強化版)
- * インストラクションマニュアル
- * コース設定ガイド
- * 演習回答例

このうち、「CIO育成テキスト(CIO実践力強化版)」を公開し、「インストラクションマニュアル」、「コース設定ガイド」、「演習回答例」に関しては公開しておりません。

「インストラクションマニュアル」「コース設定ガイド」「演習例」の3点に関しては、この「CIO育成テキスト(CIO実践力強化版)」を使用して、実際に研修を実施しようとする支援者や支援団体からの請求により、一定の条件の下に、個別にお渡しするものいたします。この3点の資料を必要とする支援者や支援団体は、IT経営応援隊事務局 (E-mail Address : ouentai@ipa.go.jp)までご請求ください。

また、「CIO育成テキスト(CIO実践力強化版)」を活用されるにあたっては、次の点をご確認のうえ、ご活用ください。

1. 本テキストの開発背景

ITを導入しようとするユーザー企業は、自らの経営課題を、IT導入を支援するパートナー(ITベンダ)企業に十分に説明することができず、また、経営課題を説明できても解決へと導く新しいビジネスモデルや業務ルールを的確に策定していないため、解決すべき方向性を伝えきれていない状況があります。そのため、パートナー企業はユーザー企業の真の課題や解決策を把握できていないケースが多く、結果として、ITを導入してもユーザー企業の経営課題が解決されないことが見受けられます。

これらを防止し、効果のあるIT導入を行っていくためには、ユーザー企業において、経営課題を解決するための新しいビジネスモデルと業務ルールを策定でき、それをパートナー企業に適切に伝える人材が必要です。また、確実に成果を出していくためには社内において、プロジェクト管理手法や、受け入れ・レビューなどの評価の視点、

さらにはリスク管理について留意して、業務を遂行できる人材が必要です。

2. 本テキストの目的

本テキストは、ITを活用してビジネスに付加価値を創造し、IT経営を実現しようとするユーザー企業が、自らの手で新しいビジネスモデルと業務ルールを策定し、これを実現するITを導入するプロセスを理解していただくためのものです。さらに、ユーザー企業のビジネス上の課題や解決策の方向性等について、ITを導入を支援するパートナー企業に対して、何を提示すべきなのか、その提示すべき内容を理解していただき、その実行にあたって、マネジメント、評価、リスクのコントロールを行うことの重要性を理解していただくためのものです。

3. 本テキストの受講者像

開発背景及び目的から、本テキストの受講者像は「IT経営を実現させようとするユーザー企業の経営者、IT担当役員及びIT担当者」を想定しています。

また、前述の受講者に対し、啓発活動や具体的なコンサルティングを展開しようとする者、ユーザー企業にIT導入を行うパートナー企業の担当者であっても、ユーザー企業が新しいビジネスモデルと業務ルールを策定するプロセス等を理解することにより、ユーザー企業との共通言語として活用することもできます。

4. 本テキストの構成

本テキストは、経営戦略策定・情報化企画立案からIT導入後の効果測定までを、約3時間のプログラムを1講座として、事前講座を含めて15講座を全体として構成しています。これらの講座は、15講座全体をひとまとまりとして活用することもできますし、受講者のレベルやニーズに基づき、必要な部分を抽出して活用することもできます。

このテキストは、別途、公開されている「CIO育成テキスト「CIO基本機能版」」に加え、実践性の高いコンテンツとして、運用段階を意識したビジネスプロセスの設計や、評価基準の設定から、レビュー、受け入れ、テスト、移行といった一連の流れにおける実装、セキュリティとリスクコントロール部分を強化して構成されています。

5. 省略できない演習課題

本テキストは、ユーザー企業が新しいビジネス(プロセス)モデルと新しい業務ルールを効果的に策定するために必須となる、プロジェクト・マネジメント、セキュリティ管理、評価に重点を置いた構成としています。そのため、第4講座・演習3から第5講座・演習2まで、第7講座・演習2から第9講座・演習1までの内容は、それぞれの演習のアウトプット情報がいずれかの演習のインプット情報をなるため、演習を省略す

る場合は必ず説明を行い、アウトプットとインプットの関係を受講者に理解していただくから先に進める必要があります。

なかでも、第4講座・演習3のアウトプットは全課題の前提条件となるため、演習として省略することはせずに進めていただく必要があります。その他の事項については、「コース設定ガイド」をご参照ください。

6. 活用の工夫

本テキストは、15講座を全体として構成し、ユーザー企業が新しいビジネス(プロセス)モデルと業務ルールを策定することを中心に経営戦略策定・情報化企画立案からIT導入後の効果測定を網羅していますが、受講者のレベル、ニーズによっては、プロジェクトマネジメントやRFPをテーマとして運営することも可能です。この場合、本テキストの内容だけでは、不十分なので、適宜、他の教材やフレームワークその他資料等を補足教材として活用し、受講者のニーズに合わせた活用をお願い致します。

7. 利用後の報告

本テキストを自社内外の教育研修に活用するにあたり、著作権を除いてその制限はありません。ただし、教育研修に利用した場合、印刷冊数、受講者人数等をIT経営応援隊事務局までご連絡いただきたくお願い致します。

(連絡先) IT経営応援隊事務局 Tel:03-5978-7506 Fax:03-5978-7516
E-mail: ouentai@ipa.go.jp